



2020年6月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 工 藤 智 昭  
(コード番号：6562 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 CFO兼管理部長 菊 川 淳  
(TEL. 03-5909-8177)

## 支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社であるソフトバンクグループ株式会社及びソフトバンク株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2020年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
ソフトバンクグループ株式会社	その他の関係会社	—	31.3	31.3	株式会社東京証券取引所市場第一部
ソフトバンク株式会社	その他の関係会社	31.3	—	31.3	株式会社東京証券取引所市場第一部

#### 2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

当社のその他の関係会社に該当するのは、ソフトバンクグループ株式会社及びソフトバンク株式会社の2社ですが、当社に与える影響が最も大きいと認められるのはソフトバンクグループ株式会社であります。主たる理由としては、ソフトバンクグループ株式会社がソフトバンク株式会社の親会社であり、間接的ではありますが、当社の議決権を31.3%保有しているからであります。

#### 3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

ソフトバンクグループ株式会社の子会社であるソフトバンク株式会社は、当社議決権の31.3%を直接所有する「その他の関係会社」であります。

事業関係においては、2014年10月にソフトバンク株式会社と資本業務提携を締結し、2016年10月より同社が提供する広告配信プラットフォーム「SoftBank Ads Platform」に当社が開発したSSP (Supply Side Platform) 等を提供する等の連携を行っております。

人的関係においては、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）4名のうち1名は、その豊富な経験に基づく経営体制の強化等を目的として、ソフトバンク株式会社から招聘しております。また、同社の顧問1名が当社の監査等委員として就任しております。従業員については、2020年5月末時点で当社から同社へ10名出向しております。しかしながら、同社と当社の関係は、当社独自の判断を妨げるものではなく、独立性が確保されているものと認識しております。

(役員 の 状 況)

(2020年 6 月 29日 現 在)

役職	氏名	その他の関係会社における役職
取締役	町田 紘一	ソフトバンク株式会社 デジタルマーケティング事業統括部 事業戦略部長 兼 新規事業推進室長
取締役(監査等委員)	仁木 勝雅	ソフトバンク株式会社 顧問

なお、ソフトバンクグループ株式会社は、「ソフトバンク・ビジョン・ファンド等SBIAの運営するファンド事業」、「ソフトバンク事業」、「アーム事業」および「ブライトスター事業」を行っており、その中で当社は、「その他」に持分法適用会社として属しておりますが、当社取締役会の承認事項に関して特別取り扱いを定めた契約等は締結しておらず、当社取締役会の独立性は確保されております。

#### 4. 支配株主等との取引に関する事項

関連当事者との取引において、支配株主等との取引に該当するものはございません。なお、2020年3月期の当社のソフトバンク株式会社との取引総額は、123,248千円（当社グループの売上に占める割合は0.9%）、費用に係る取引総額は149,216千円（当社グループの売上原価と販売費及び一般管理費に占める割合は1%）であります。また、ソフトバンクグループ<sup>注</sup>との取引総額は、567,433千円（当社グループの売上に占める割合は4%）、費用に係る取引総額は249,832千円（当社グループの原価と販売費及び一般管理費に占める割合は1.7%）であります。

注：ソフトバンクグループとは、ソフトバンクグループ株式会社とその子会社ソフトバンク株式会社及びヤフー株式会社を意味しております。なお、ヤフー株式会社は、2019年10月1日より会社分割（吸収分割）により持株会社体制に移行し、商号をZホールディングス株式会社に変更しています。また、インターネット上の広告事業等は、承継会社として設立されたヤフー株式会社に承継されています。

以 上